

高病原性鳥インフルエンザ

千葉県で疑似患畜(2例目)確認(全国24例目)

【千葉県2例目(全国24例目)】

▼千葉県千葉市若葉区(1例目発生農場から半径10km以内)

▼肉用鶏 約62,000羽

▼3月16日夜、千葉県で1例目の高病原性鳥インフルエンザ発生農場を中心とする移動制限区域内の農場の感染確認検査を実施したところ、1農場において6羽中1羽から高病原性鳥インフルエンザが疑われるウイルスを分離

▼3月16日深夜、家畜保健衛生所による遺伝子検査の結果、H5亜型 陽性と判明、
疑似患畜と判定

▼家さんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施

千葉県千葉市若葉区

高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底

1 農場の衛生管理の徹底 (基本的な飼養衛生管理)

- ①防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底
- ②農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施
- ③鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



2 早期通報の徹底

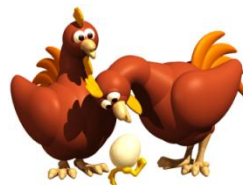
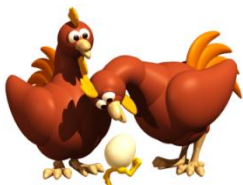
- ①鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合
- ②1鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合
- ③1鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合
- ④その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症場等の異常が確認された場合

連絡先

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

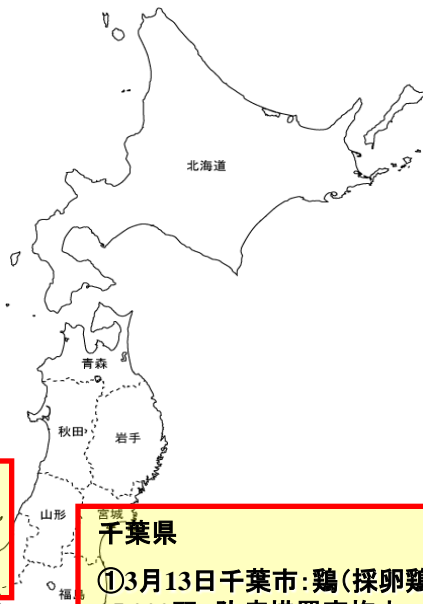
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況 《H22年10月～:家きん飼養農家》

:家きん飼養農家

家きんでの発生事例
全9県 24農場
約185万羽



島根県

11月安来市:鶏(採卵鶏)20,000羽
12月5日 防疫措置完了
12月27日 移動制限解除

奈良県

2月28日五條市:鶏(採卵)約10万羽
3月7日 防疫措置完了

和歌山県

2月15日紀の川市:鶏(採卵)約120,000羽
3月14日 移動制限解除

千葉県

①3月13日千葉市:鶏(採卵鶏)35,000羽 防疫措置実施中
②3月17日千葉市:鶏(肉用)62,000羽 防疫措置実施中

大分県

2月2日大分市:鶏(採卵鶏)11,100羽
2月5日 防疫措置完了
2月27日 移動制限解除

鹿児島県

1月25日出水市:鶏(採卵鶏)8,600羽
1月26日 防疫措置完了
2月17日 移動制限解除

三重県

①2月5日紀宝町:鶏(肉用)約67,000羽
3月15日 移動制限解除
②2月26日南伊勢町:鶏(採卵)約240,000羽
3月6日 防疫措置完了

愛知県

①1月26日豊橋市:鶏(採卵鶏)約15万羽
2月3日 防疫措置完了
2月25日 移動制限解除
②2月14日新城市:鶏(種鶏)約17,500羽
2月16日 防疫措置完了
3月10日 移動制限解除

宮崎県

- ①1月22日宮崎市:鶏(種鶏) 10,240羽、 1月24日防疫措置完了、 2月15日移動制限解除
- ②1月23日新富町:鶏(採卵) 約66,000羽、2月 2日防疫措置完了、 2月24日 移動制限解除 (団地全体約41万羽)
- ③1月27日都農町:鶏(肉用) 10,400羽、 1月29日防疫措置完了、 2月20日移動制限解除
- ④1月28日川南町:鶏(肉用) 92,000羽、 1月31日防疫措置完了、 2月22日移動制限解除
- ⑤1月28日延岡市:鶏(肉用種鶏)6,600羽、1月30日防疫措置完了、 2月21日移動制限解除
- ⑥1月30日高鍋町:鶏(肉用) 39,200羽、 2月 1日防疫措置完了、 2月23日移動制限解除
- ⑦2月 1日宮崎市:鶏(肉用) 190,000羽、2月 4日防疫措置完了、 2月26日移動制限解除
- ⑧2月 4日高千穂町:鶏(肉用)59,000羽、2月 6日防疫措置完了、 2月28日移動制限解除
- ⑨2月 5日都農町:鶏(肉用)約88,000羽、2月 7日防疫措置完了、 3月 1日移動制限解除
- ⑩2月 5日門川町:鶏(肉用)約30,000羽、2月 7日防疫措置完了、 3月 1日移動制限解除
- ⑪2月 7日宮崎市:鶏(肉用)約33,000羽、2月 8日防疫措置完了、 3月 2日移動制限解除
- ⑫2月17日延岡市:鶏(肉用)約20,000羽、2月17日防疫措置完了、 3月11日移動制限解除
- ⑬3月 5日門川町:鶏(肉用)約33,000羽、3月 7日防疫措置完了

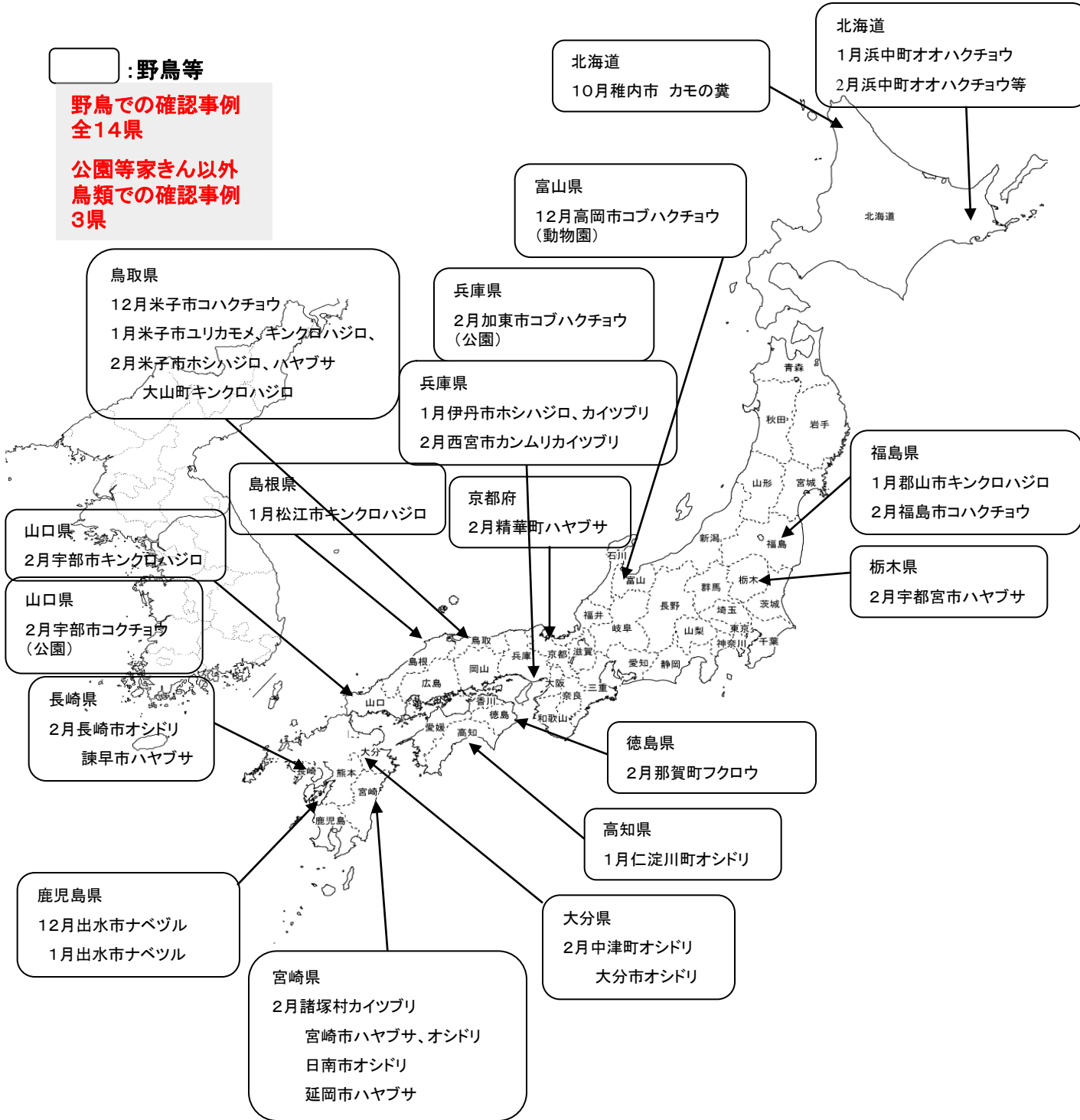
※現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)です。

日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況 《H22年10月～:野鳥等》

野鳥等

野鳥での確認事例
全14県

公園等家きん以外
鳥類での確認事例
3県



※現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)です。